

先週のマーケット動向(12月13日~12月17日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,180.1	1,187.1	1,177.1	1,180.9	▲0.4
JPY/KRW	10.3964	10.4636	10.3504	10.4044	▲0.002
KOSPI	3,019.67	3,043.83	2,973.00	3,017.73	▲7.50

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。1,180.1ウォンでオープン後は13日、14日とFOMCを控えて方向感の出づらいつ展開となる中、実需のドル買いのフローが主導する形で1,182ウォン台までじりじりとドル高が進行した。15日も米国の良好なPPIの結果を受けて1185.0ウォンでオープン後は方向感に乏しく終日狭いレンジでの推移となり、1185.2ウォンでクローズしてFOMCを待つ形となった。結局FOMCは市場の予想通りの結果となり、16日も1,183.9ウォンと前日クローズとほぼ変わらずでオープンした後も材料出尽くし感から動意に乏しい展開となった。週末17日は実需のドル買いが入り一時1,187ウォンまで上昇したものの、外国人投資家の株買い拡大やイベント通過後のドルロングポジションの調整が拍車をかける形でドル/ウォンは引けにかけて急落し、結局先週末対比0.4ウォン下落した1180.9ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は比較的底堅い展開を予想する。注目されていたFOMCを市場予想通りで通過してマーケットの注目がオミクロン株へ戻る中、感染拡大への警戒感から今週は序盤からリスクオフの展開が予想される。ウォラーFRB理事による3月のFOMCでの利上げも選択肢となるとのタカ派発言から米国債が2年物を中心に上昇しており、こちらもドルの買い支え要因となるか。年末にかけての実需のウォン買いも想定されるため上値も限定的であろうが、今週のドル/ウォンは比較的底堅い展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1175 - 1200	10.30 - 10.60	112.6 - 114.6

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 22日(水) 米 11月 中古住宅販売件数
- 欧 12月 消費者信頼感指数 一次速報
- 米 3Q GDP 確定値
- 米 12月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 23日(木) 米 11月 耐久財受注 速報値
- 米 12月 失業保険新規申請者数
- 米 12月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 米 11月 個人所得
- 米 11月 個人消費
- 米 11月 新築住宅販売件数
- 24日(金) 日 11月 CPI